

ガバナー 月信

Rotary



イマジン
ロータリー

Governor's Monthly Letter

Rotary International District 2630 2022-2023

国際ロータリー 第2630地区 2022-2023年度
ガバナー 高橋 伸治



contents

2022～2023年度 第2630地区ガバナーメッセージ
クラブ会長挨拶 一年を振り返って
韓国第3600地区・地区大会に参加
中津川RC創立65周年
鈴鹿シティRC創立25周年記念式典
地区代表幹事挨拶
第2630地区 会員数報告
第2630地区 会員動静報告

June 2023
vol.12

6

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





一年を振り返って

2022-23年度
RI第2630地区ガバナー

高橋 伸治

ついに最後の月信となりました。

一年間、会員の皆様には「ガバナー・メッセージ」にお付き合いいただき本当にありがとうございました。

皆様に少しでもロータリーについて理解を深めて頂きたいとの思いで、自分自身のロータリーについての想いをお伝えしてきたつもりです。会員皆様のロータリー観を養う機会に少しでも役立っていれば幸いです。

振り返ってみますと、2月に実施される予定でありました国際協議会は新型コロナウイルス感染の為、オンライン形式と対面形式のハイブリッド方式となり、日本からは現地に行って対面式で参加するつもりでいました。ところが世界的に感染が急拡大したためすべてオンライン形式となり、残念ながら楽しみにしていたオランダでの国際協議会は行く事が出来ませんでした。

その後2月の地区チーム研修セミナーも感染拡大の為、オンライン形式に切り替え実施となりましたが、それ以降は新型コロナ感染も落ち着いたため、「会長エレクト研修セミナー」、「地区研修・協議会」からは、感染対策を徹底しながら対面式で実施する事ができました。今思うと本当にラッキーでした。

7月に入り、ガバナー公式訪問を皮切りにガバナー年度がスタートしました。ところが、7月20日に予定されていた最初のガバナー公式訪問が、新型コロナ感染の心配があるとの事で延期となり、さらに2つの公式訪問も続けて延期となり先が大変心配される状況になりました。

しかし、その後はガバナー補佐、クラブ会長のご配慮と協力によりオンラインと対面のハイブリッド方式、又は従来通りの対面方式で、ガバナー公式訪問、IMともすべて予定通りに実施する事が出来ました。新型コロナ感染が懸念される中、皆様方のご尽力に本当に感謝申し上げます。

私は、ガバナーエレクトの時、約2年間新型コロナウイルス感染の拡大により行動制限がとられ、思うようにクラブ活動が出来ず止まり気味になっていた「ロータリーの菌車」を元氣よく回せるようにしてクラブを活性化する事がガバナーとしての仕事であると考えていました。その為にも3年振りの開催となる地区大会は、何とか2日間のフルスペックの対面式で実施したいと願っていました。

その願いが叶い今年度の地区大会は、2日目の大

昼食会は残念ながら中止とし、お弁当の対応となりましたが、その他は予定通りの地区大会が実施でき、1500人以上の登録を頂き開催する事が出来ました。ご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。

RI会長代理に安間みち子様、基調講演に元研修リーダーの鈴木一作様にお越しいただき素晴らしい講演を頂き、参加された会員からもロータリーがよくわかった、本当にいい話を聞かせていただいたと言っていただきました。そして3年ぶりの地区大会に参加できて良かったと喜んでおられる会員皆様の笑顔が今でも目に焼き付いています。

新規事業では、世界のポリオデーに合わせて地区では初めてのポリオ根絶をラッピングした市内循環バスを岐阜乗合自動車様、三重交通様のご協力を得て岐阜市、津市で運行しました。また、それと同時にグループ単位で街頭募金活動も積極的に行っていたるようにガバナー補佐の皆様にお願いました。

この様な活動を通じて「ラッピングバス・プロジェクト」は、ロータリーのポリオ根絶活動を市民に広く知ってもらい、多くの方に募金活動に協力していただくと同時に、ロータリーの公共イメージの向上にも寄与できたと思っています。

この事業は、RIからも評価され4月20～21日に東京で開催されたクラブ活性化セミナーで「2630地区のラッピングバス・プロジェクト」として発表する機会を頂く事が出来ました。

また、ロータリーカードの推進にも力を入れ、ロータリーカードを使う事がポリオ募金に自動的に繋がることを伝えてきました。これも皆様のご理解のもと大きな成果を出す事が出来ました。ぜひ次年度も引き続き推進に協力いただきたいと思います。

最後に今年度の地区スローガン「ロータリーの心と原点を大切に・描こう明るい未来を」

サブタイトル：「ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る」

を記して一年間のお礼とさせていただきます。

みんなで手を取り合って、一人でも多く「真のロータリアン」を育て日本のロータリーの明るい未来を創っていきましょう。

一年間本当にありがとうございました。

クラブ会長挨拶 一年を振り返って

三重県



桑名ロータリークラブ 会長
松原 正紀

今期は上半期に数回の例会こそありましたが、以降は通常例会を時間短縮にしつつ創立記念祝賀会や家族会等主要な行事も多くのご参加を得て実施できました。

当クラブは、長年少年軟式野球大会を主催しており、多くの子供たちと触れ合います。

コロナ禍の最中でも欠かさず開催してきました。小さな子が一礼し、懸命にプレーする姿はそれだけで胸がいっぱいになり、若い世代への信頼が湧き起こります。未来を担う子供たちのため、ささやかな事業ですが今後も続けて参ります。

今期を終えようとする今、改めて思うのは例会で皆様と会える喜びは何物にも代えがたいということです。至らない私がか長の職を全うできたのは幹事はじめ会員の皆様のご理解、ご協力のお陰であり、心より感謝申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。



桑名西ロータリークラブ 会長
後藤 昭夫

今年度のクラブの方針として「今だからこそ 親睦！ 会員増強！」をテーマにスタートいたしました。新型コロナウイルス感染症の第7波が到来し、残念なことに8月1日より9月26日に例会を再開するまで約2か月間の休会はクラブ運営上非常に大きな痛手でした。

再開と同時に第2630地区ガバナー高橋伸治様をお迎えしての「桑員グループ公式訪問合同例会・IM」をホストクラブとしてハイブリッド形式ではありましたが開催することができましたことは本当によかったと思います。

また、1月より新入会員2名、うち1名は西クラブ初めての女性会員をお迎えすることができました。仲間が増えることは本当にうれしい事です。残り2か月会員相互の親睦を図りつつ会員増強に努力いたします。



桑名中央ロータリークラブ 会長
加納 徳美

昨年の7月に桑名中央ロータリークラブの第30代会長を拝命して以来、早いもので任期もあとわずかとなりました。奉仕活動は花火大会翌朝の清掃活動から始まり、桑名警察署・桑名消防署様と啓発活動を行い、また桑名地域生活安全協会様とは、数回特殊詐欺啓発活動を行い、年末には寺町通三八市にはサンタの衣装で啓発活動を行いました。

例会に参加しやすいように審議いたしました。

そして当クラブで初めてオープン例会を開催いたしました。4名の方が参加していただきました。入会には至りませんでしたがいい経験になりました。

30周年記念式典もおこないます。無事成功納めていると思います。

最後になりますが酒井幹事をはじめ、会員の皆様に助けていただき無事に終えることができました。

ありがとうございました。



桑名北ロータリークラブ 会長
玉野 英美

当クラブ創立25周年という記念すべき大事な1年に、会長を拝命し、かねてより予定しておりました、記念事業が出来たことを大変嬉しく思っております。

数年間、例会運営がままならない状況だったため、今期は改めて会員相互の親睦を大切に、絆をさらに深めたいとの思いもあり、開始当初はまだまだコロナ禍の中でしたが、「例会を休まない」と心に決め、例会中の食事を無くし、持ち帰りのお弁当対応や、会員の事情により出席出来ない方にはZOOM配信で参加していただくなどして、例会することなく、例会が出来ました。

これも、例会場のご厚意や、会員の応援、幹事の後ろ盾があったからこそだと感謝しております。

残すところ後数回の例会となりましたので、存分にロータリークラブ会長を楽しみたいと思います。

会員の皆様、事務局さん、1年間 クラブ運営にご協力頂きまして、本当にありがとうございました。



四日市ロータリークラブ 会長
伊藤 重和

ジェニファー・ジョーンズRI会長のテーマである「IMAGINE ROTARY」は高橋ガバナーの「ロータリーの心と原点」のもと、ロータリーの進むべき未来を思い描き、僅かばかりは実現できたのではないかと思います。会員の皆様にそのように感じていただけるとすれば、それは四日市RCの歴史と伝統の継続に加え、不易流行を重んじる皆様のご支援の賜物であると心から感謝いたします。

そして地区大会のことは忘れられません。例会の大切さ、親睦の大切さの意味するところは、真のfellowshipである志を共にする者同士の仲間意識、目的を持ったチームとしての活動こそが未来を切り開けると感じられたことが大きな成果となりました。

「つながりと育み」によって、ロータリークラブの持続可能な発展のために、次年度へと着実に引き継いでいきたいと思っております。

クラブ会長挨拶 一年を振り返って



四日市北ロータリークラブ 会長
橋本 浩

会長を拝命して早いもので1年が過ぎようとしています。新型コロナウイルスに振り回せられ、8月は例会を休会することになりIMも中止になり残念なスタートとなりましたが、9月後半から何とかロータリー活動も出来る様になり夜間例会など親睦等の行事を行えるようになりホッとしています。我がクラブの年度初めは会員数が18名という事で会員増強が課題となっていますが、現在4名増強が出来、22名の会員となっております。数年先には、会長、幹事を若い力をお願いをしてクラブの活性化をして頂きたいと思えます。そのためにも引き続き会員増強に力を入れていきたいと思えます。最後に1年間支えて下さった会員の皆様に深謝いたします。



四日市西ロータリークラブ 会長
藤牧 正浩

まず理事をはじめ会員の皆さんに支えられて終えることができましたことに感謝申し上げます。新型コロナ収束の兆しが見え始めた頃に新年度が始まりました。例会は概ね通常例会、多くの事業は3年ぶりの開催となり、戸惑いながらも正にwithコロナ年度として動き出したという感じでした。オンライン出席を認め、卓話はフィンランド、ウクライナ、オランダ、米国からの中継を企画、距離的制約がなくなった事を実感しました。また台湾新店扶輪社との交流では通訳アプリで言語の壁もなくなってきました。もともと世界中で繋がっているのがロータリー、企画や活動の選択肢は増えて、益々面白くなりそうな予感がします。1年間ありがとうございました。



四日市南ロータリークラブ 会長
矢野 範子

当クラブは今年度創立33周年を迎え、初めて会長及び幹事を女性が務めました。休会や行動の制限を余儀なくされたコロナ感染拡大から3年目に当たる今年度は、例会の雰囲気やコロナ禍前に戻すことに重点を置いて活動し、大雪時以外は予定通りプログラムを実施しました。前半は出席率が低下することもありましたが、経験豊かな会員が辛抱強く温かく見守って下さり、年数の浅い会員も積極的にロータリーへの情熱を語って下さるようになり、後半はクラブ全体が温まり、退会者は一人も出ませんでした。私達は誰もが主人公で、例会はそれぞれの物語が交差する素晴らしい1ページです。人生もロータリーもそれぞれこの立場からの思考を重ね、安定した人間関係を築いていくことが大切だと実感した一年でした。これからも当クラブの素敵な物語が続いていくようお願いしながら次年度にバトンを渡したいと思えます。皆様、一年間本当にありがとうございました。



四日市東ロータリークラブ 会長
内田 英文

今年度も一昨年より蔓延しておりました新型コロナの感染予防を徹底しながらの前期でありました。社会奉仕活動として「障害を持つ子供達」「知的障害者を持つ家族」「両親のいない養護施設の子供達」を招き、海の素晴らしさを知って頂くために船に乗船し、一日楽しく体験して頂く継続事業の「海とのふれあい」が今年度も残念ながら子供達や関係者様の健康・安全を考え中止となりました。その他の年間プログラムはウィズコロナを意識しながらではありましたが計画通り進めることが出来ました。例会出席率100%の継続を目指し、魅力あるクラブ運営をし、楽しい環境を提供することも出来たと思えます。国際奉仕の事業目的として、「ザンビアの辺地医療の支援」を創立20周年の記念事業から継続し、今こそ必要な国内・国外の奉仕活動を目指せたと思えます。残すところ少しではありますが、四日市東ロータリークラブの未来価値として魅力を存分に発信していきたいと思えます。



鈴鹿ロータリークラブ 会長
長谷川 照義

本年度から通常スタイルとなり、無事に60周年を終わらすことが出来、ほっとしています。「折角するなら楽しくロータリーを！」この思いを自分自身に言い聞かせメンバーの皆様にお付き合い頂き1年間取り組んできました。おかげ様で当初の計画をすべて大満足で地域の人々も巻き込んで終了することが出来たことは感謝しかありません。特に60周年の記念事業に市内11の中学校へ各学校の生徒が今必要な物を協議してもらい寄贈することが出来、生徒が寄贈物を企画設営して交流が出来た事又、鈴鹿ロータリーのPRにつながった事すべてがメンバーの記憶に残る事業になったと思えます。1年間ありがとうございました。



鈴鹿西ロータリークラブ 会長
藤野 恵子

コロナ禍でなかなか通常通りの例会を行うことができない中、会員同士の融和、コミュニケーションの時間を大切にし、「やめたくない」「もっと活動をしたい」と思えるクラブ運営を念頭におき一年間を過ごしてきました。高齢を理由に退会をされる会員も何人かおられました。会員の維持、増強について、今力を合わせてできることについて、積極的な意見交換の機会を持つことができました。IMについては、残念ながら懇親会はできませんでしたが、会員全員の団結のもと成功裡に終わることができました。地区補助金事業として、鈴鹿市の療育センターへ感覚遊びに有効な砂場を寄贈することができました。会員の皆様方の大きなご支援、ご指導のもと無事に終えることができましたこと、心より感謝申し上げますとともに、引き続き皆様方とともにロータリー活動を楽しみたいと思えます。



鈴鹿バイロータリークラブ 会長
磯部 弘生

昨年3月のPETSから早いもので1年が経過致しました。今年度のジュニアフェローズR1会長のテーマは「イマジンロータリー」。そして、2630地区高橋伸治ガバナーのテーマは「ロータリーの心と原点を大切に描こう 明るい未来を」でした。それを基に本年度、私共のクラブは「超私の奉仕と友愛の精神」を基本として活動をしてまいりました。しかし、「コロナ」の影響などにより30年間続いてきました「鈴鹿バイロータリー杯ジュニア柔道大会」等が停止となり大変残念に思っています。

又、会員増強につきましては、9月にオープン例会を行い、1名増を果たしました。一方、チャーターメンバーの方が体調不良で退会をされ、1増1減で純増には至りませんでした。

最後になりましたが、沖俊成ガバナー補佐様のご指導の下、森田幹事を始め、当クラブ会員の皆様に支えられ、アフターコロナでのクラブ活動・事業の再開ができましたことを心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



亀山ロータリークラブ 会長
森口 喜義

コロナ感染拡大により社会活動が制限されるなか、短縮例会を余儀なくされた一年でした。

その中で、今年度の事業は米山奨学生受入れとインターアクトクラブの青少年育成事業を主な事業として取り組みました。

当クラブは小規模であるがゆえに活動が限定されますが、規模に左右されることなく実行できるこの事業は、高校生や奨学生と触れ合うことで活気に溢れ、会員の出席率向上に繋がっています。コロナが収束していれば奨学生と高校生との国際交流が活発にできていたことを考えると残念でありませんが、今後もこの事業を継続して次回の奨学生受入れ時には平常な社会生活に戻り、有意義な活動ができることを切望します。

会員の皆様には一年間大変お世話になりました、厚くお礼申し上げます。



鈴鹿シティロータリークラブ 会長
廣田 隆

この度、鈴鹿シティRCは25周年の節目の年を迎える事ができました。

これもひとえに、会員また歴代会長が、ここまでクラブを大事に育てていただいた結果であり、また社会へ継続して貢献をした実績であります。この事をあらためて皆様に感謝を申し上げます。

今年度は25周年ということもあり、継続事業でありますベトナム奨学金事業の継続、また鈴鹿RC様との合同でのチャリティーゴルフコンペの開催、そして衛星クラブの設立であります。

現在会員の減少、また今後の活動を見据えた場合、環境に影響されないクラブ活動が必要であります。

私共は衛星クラブを通じて、新入会員の増強また職業紹介を含めた新たな会員との交流を考えております。

大変な一年でありましたが、皆様と一緒に活動できた事を誇りに思い感想とさせていただきます。

一年間ありがとうございました。



津ロータリークラブ 会長
小寺 徹也

「仲良くなりましょう。それでこそロータリー」のテーマを掲げ、会員のFellowshipと地域社会へのServiceと「来たくなる例会」運営に重点を置いた一年でした。全てのプログラムを実施すると共に高い出席率を維持できました。

特に、月初めの例会では、お誕生日を迎える会員からリクエスト曲とエピソードを募り、ピアノ奏者による楽曲披露をいただきました。会員一人一人に必ずあるお誕生日を会員全てでお祝いする。「みんなに公平か」を実現した企画であり好評を得ました。

Serviceについても、地域小学校への図書寄贈やスベシャルオリンピックス支援、子どもの貧困対策など未来を担う青少年への支援を行いました。



上野ロータリークラブ 会長
小坂 元治

昨年7月に会長に就任させて頂いてから早いもので任期を終えようとしております。本年度はロータリーの原点である親睦活動の充実として意義のある楽しいクラブ運営を基本方針に活動してまいりました。例会の充実として、外部卓話の充実、3回の移動例会、2回の家族親睦会を実施することができ、家族を含めた会員の親睦は図れたのではないかと考えております。事業の方ではコロナ禍による調整不足で少年野球教室、健康体操は実施できませんでしたが、インターアクト活動支援は、次年度に控えているインターアクト年次大会の大会実行委員会を立ち上げ、ホスト校の顧問先生、生徒さんと共に大会の準備に専念いたしました。

上野ロータリークラブは次年度創立70周年を迎えます。益々充実した伝統のあるクラブになるよう、会長の任期が終わっても、盛り上げていきたいと思っております。

最後に幹事をはじめ会員の皆様方に支えられ会長としてクラブ運営ができたこと感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



名張ロータリークラブ 会長
的場 敏訓

おかげ様で本年、名張ロータリークラブは創立60周年を迎えることができました。これもひとえにスポンサークラブである上野ロータリークラブ様を始めとするロータリー関係者の皆様のご支援ご鞭撻の賜物と感謝申し上げます。

さて、本年度60周年の記念事業と致しまして、3月7日世界的ジャズミュージシャン渡辺貞夫さんのチャリティーコンサートを開催し、5月20日の記念例会では、ゲストに裏千家前家元の千女室様をお招きして記念講演会を開催させていただきました。ロータリー関係者の皆様には大変お世話になります。

また、昨年10月には当クラブの亀井喜久雄君がガバナーノミニに選出され、私も次々年度地区代表幹事を拝命させて頂きました。只今ガバナーエレクト事務所開設に向けて準備をすすめているところでございます。

ロータリー関係者の皆様には引き続きお世話をおかけ致しますが、ご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

クラブ会長挨拶 一年を振り返って



津南ロータリークラブ 会長
西井 健之

ロータリー活動については、コロナで暫く何も出来ませんでしたので、まず、親睦を深めようと思い、当クラブのテーマを「あなたの舞台津南ロータリークラブ 楽しくやりましょう!」としました。インフォーマルミーティングでも会員1人1人の近況をまず、お聞きし、お互いが理解しあえる様努めました。一年を通じ色々な行事がありました。ロータリー活動も徐々に軌道に乗り、私としては個人的な事情を別にすれば楽しくやれたんじゃないかと思えます。

特に印象に残っているのは、地区活動方針の一環として津・四ロータリークラブでポリオ根絶の街頭募金が出来た事です。今後も津・四ロータリークラブで何か共通の行事が出来ればと思います。

最後に幹事をはじめ会員の皆様、事務局員には大変お世話になりました。ありがとうございます。



津北ロータリークラブ 会長
伊藤 俊哉

津北ロータリークラブの伊藤俊哉と申します。私はこの1年間どうすれば会員の皆さんが例会に来ることが楽しいと思ってもらえるかを真剣に考えそれを実施してきました。

まず、会長挨拶を皆さんの役にたつ挨拶にしたいと思って「安心・安全・便利・快適」をテーマとしました。

それとクールビズだけでなくウォームビズも取り入れました。

次に、ハイブリッド例会を実施しました。これはコロナ禍だけでなく新しい時代のベーシックな取り組みとして今後もやり続けていくことにしました。

そして、キャッシュレス対応に積極的に取り組んでいます。まだまだキャッシュレスはいろんなものがあるのでこれからも新しいキャッシュレスを取り入れていきたいと思えます。



上野東ロータリークラブ 会長
伊藤 泰哉

上野東ロータリー「LOVE ALL SERVE ALL」～すべての人を愛しすべての人に奉仕する～というテーマを掲げ1年をスタートしました。RI会長の「イマジンロータリー」というテーマを会長エレクト研修セミナーでお聞きして思い浮かんできました。

上野東RCの今までで行ってきた、奉仕事業がコロナ禍の中数年間でできなかったのが、会員全員が一丸となって青少年育成事業のU-9サッカー大会やポリオ根絶募金活動などの活動ができたことが会員の意識の高まりが感じられました。またガバナー公式訪問が伊賀地区の担当クラブとなり無事開催できたことや、IMも開催でき懇親会も感染対策を取ることで、できました。会員増強も段階的な規制緩和の中、諸会合に、積極的に参加し、声掛けなどや、オープン例会の開催も数回できる事が出来ました。そして、4名の入会がありました。

これからは、新入会員にロータリーの楽しさや、先輩会員の皆様に親睦と奉仕の精神をご教授願ひ交流を深めてもらいたいと、考えています。

例会の開催も1回の休会でも済みました。家族例会や職場訪問もでき、移動例会の開催など、感染対策を考えながらの例会運営となりました。計画していたプログラムがほぼ達成できたことが、会員の皆様のご協力があつたからと、心から感謝します。

ロータリークラブの会長職をお支え頂いた、幹事、理事会メンバー、会員の皆様、事務局員様に心より感謝申し上げます。



久居ロータリークラブ 会長
菅内 章夫

クラブの会長方針は、「ロータリーの中核的価値観で、親睦と職業奉仕を進めよう」としました。例会の会員卓話を通算10回、のべ14名に、職業について話をしてもらい、会員のことを知ることで、親睦を深めることができました。会員増強は、オープン例会を3回開催して、4名の新会員を迎えることができ、そのうち2名が女性会員で、女性会員比率10.3%を達成しました。また、地区の補助金を活用して、「高通児童公園花壇リフレッシュ事業」を地元の中学生と一緒に実施し、地域の社会奉仕や青少年奉仕もできました。当日は、新聞3社、テレビ2社に取材され、公共イメージ向上にも役立ちました。そして、6名の会員が、久居中学校で職業講和をして、中学生に職業について学んでもらいました。



名張中央ロータリークラブ 会長
生田 亮司

17名という少人数でスタートした2022-2023年度ですが、新たな試みで、パートナー会員の創設により3名の新会員を迎えることができました。新型コロナウイルスによる活動の制限も緩和され、無事に例年通りの行事を滞りなく終えられたことを嬉しく思います。

青少年育成奉仕プロジェクト事業である、名張高校被服専攻の生徒たちによる手作りの巾着袋の高齢者福祉施設への贈呈も今年で8年目を迎え、高校と施設をZoomで繋いで開催することができました。また、4年ぶりに名張桜まつりが開催され、当クラブが造成・管理しております山山桜の森を、市民の皆さんに楽しんでいただくことができました。

例会においてもZoomを取り入れるなど創意工夫しながら、会員のみならず各会員の家族の方にも支えていただき任期を終えることができました。心より感謝申し上げます。



松阪ロータリークラブ 会長
小津 博英

昨年、7月より会長を拝命させていただき、身の引き締まる思いで会長の任を全力で取り組んで参りました。当初、PETSを受講した際、「会長報告は命がけて、必ずロータリーの話をすること」という言葉に大きな衝撃を受けました。私は、浅学非才ゆえこのハードルは非常に高く感じましたが、1回1回の報告にあたり、少しでもロータリーに関するエッセンスを入れるよう心掛けました。これにより学習しながらではありますが、私自身、ロータリークラブの一員としての誇りと自覚が深まっていったと確信いたします。

私が会長を拝命させていただいて以来、無事今日を迎えることが出来ましたのも会員の皆様のお支えがあつてこそこのことと感謝いたしますとともに、心から御礼申し上げます。

栄えある松阪ロータリークラブの道統の1ページに私の氏名を刻み込んでいただけたことを大きな光栄として、ロータリアンとして、今後の人生を邁進致しく存じます。1年間、誠にありがとうございました。



松阪東ロータリークラブ 会長
松本 信弘

一年を振り返ると、会長エレクト研修セミナーの「PETS」を思い出します。研修を受けたものの会長職を務めることが本当にできるのか不安でいっぱいでした。7月に新年度が始まり、第1回目の例会で緊張しながら会長報告をさせていただいたことを覚えています。が、残念ながら新型コロナウイルスの第7波の蔓延により9月26日の例会再開までの間、例会の休会、3クラブ合同例会の延期など多くの事業が中止ということとなりました。その後、何とか例会や事業を再開、11月6日(日)にはインターシティミーティングを開催させて頂きました。高橋伸治ガバナーそして、地区内のクラブの皆様には多数ご参加いただき誠にありがとうございました。辻正敏パストガバナーにおかれましては「ロータリー・・・?」のテーマで記念講演をして頂き充実したインターシティミーティングになったと思います。クラブ内では忘年例会や花見例会で久しぶりに、皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごせたことを嬉しく思います。最後に、幹事はじめ役員、会員の皆さんのご協力、ご支援を頂き何とか1年を終えることができました。ありがとうございました。



熊野ロータリークラブ 会長
齋藤 友紀

会長エレクト研修セミナーに参加して早1年がたちました。我が熊野ロータリークラブは創立50周年ということもあり事業計画が沢山ありましたが新型コロナ感染拡大のためロータリー活動ができるかどうか不安な気持ちで会長をむかえることになりました。熊野では少子高齢化 過疎化という問題が深刻な状態です、こんな街を少しでもロータリー活動で元気に明るくできないかという思いと計画を立てました、幸いにも心配していたコロナも落ち着きをみせてくれましたほとんどの事業をこなすことができました。気がつけば熊野を元気にしたいという仲間が6人も増えてくれました。まだ最後に創立50周年の事業が残っているのでそこに向けてもう少し頑張りたいと思います。



尾鷲ロータリークラブ 会長
内山 英則

コロナ禍での会長就任ではありましたが、2022年5月時点ではコロナ終息の様相であったため、より充実した活動を目指しました。が、残念ながら第7波、第8波とコロナ再拡大があり満足のできる活動が出来なかったように思います。そんな中ではありましたが①会員増強、会員維持、クラブ拡大 ②ロータリー財団補助金の積極活用を主な活動目標と考へ行動してまいりました。会員増強については残念ながら増員とはならなかったものの、オンライン例会活用等による交流維持に注力し退会会員が出ることなく会員数を維持できました。財団補助金の積極活用は、教員委員会管轄の尾鷲天文科学館への天体望遠鏡の寄付を次期活動への下地作りとして補助金申請し、2023-24年度に実行できる予定であります。多くのメンバーからのご協力をいただき、コロナ禍の難しい状況での会長職ではありましたが大きな問題もなく一年続けられた事に感謝申し上げます。コロナが第5類に分類された2023-24年度においては、今まで以上にロータリーが活発に活動出来ていけることを願ひまして一年の振り返りとさせていただきます。ありがとうございました。



松阪山桜ロータリークラブ 会長
田中 和弘

今年度はコロナも一段落し、3年ぶりに開催された氏郷祭りではIAの生徒さんと共に募金活動ができたことは喜ばしいことでした。私はロータリーに入会して11年です。クラブからは会員増強について様々な意見が聞かれます。職業分類の緩和はクラブの活性化に繋がると思います。ただ過去にあまり参加してこなかった職業の方が入ることでクラブの方向性が変わってしまうこともある為、その人がクラブにどのような貢献をすることができるか、またクラブの方向性に共感しているかなど、考慮する必要があると思います。私の任期も後2か月、その間会員の皆様と協力し、クラブの発展のため頑張りたいと思っています。



伊勢ロータリークラブ 会長
山崎 力

会長の重圧に潰されそうになりながら、何とかここまで無事に過ごすことが出来ています。就任あいさつでも述べましたが、歴代の会長の中で最も威厳のない会長が誕生しました。理事の皆さんはもとより、会員の皆さんに支えられ72代会長が終わろうとしています。コロナ過の中、思うような運営が出来なかったのも事実ですが、それでも例会再開後は会員相互の親睦も少しは出来る(たまたま運がよかっただけかもしれませんが)ようになったと思います。後は次の年度に上手く繋げることが残された私の役目ですから、もうあと少し頑張りたいと思います。皆さんのご協力には感謝しかありません。ありがとうございます。



鳥羽ロータリークラブ 会長
杉原 新一

本年度のクラブテーマを「不易流行」としました。2022-23年度44回の例会を開催予定でしたが、7月末の感染拡大、2月末の雪と2回の臨時休会となり、またその日が2日ともたまたま池田ガバナー補佐訪問例会となっていました。代替え日を用意して対応させて頂きました。今期、多くのクラブ活動に加えて、地区目標のMy Rotary登録率50%に対して、100%達成いたしました。また、ポリオ根絶街頭募金についてはクラブ内が中心でしたが、今年度は「鳥羽の日」10月8日に他団体の事業に参加して、初の街頭募金活動を行いました。ロータリーカードの普及においては次年度へ申し送りし、高橋ガバナーの「変えてはいけないもの」「変えてもよいもの」「変えなければならないもの」を実行できたと思います。協力頂いた鳥羽ロータリークラブメンバーに感謝いたします。

クラブ会長挨拶 一年を振り返って



伊勢南ロータリークラブ 会長
橋本 博文

コロナが納まりそうな状況での新年度のスタートにあたり、今年度は例会の休会なしで1年間活動が出来ることをひとつの目標としましたが、7月末から9月末まで、やむなく休会とすることになりました。また、台東RCとの姉妹提携50周年の年でありましたが、お互いに訪問を行うのが叶わず記念品の交換での行事となりました。早く面会でのお祝いを出来ることを願います。

令和5年になってからは、コロナに対する社会の対応も落ち着いてきて、当クラブにおいても、IDMの再開や、家族夜間例会も気をつけながら行うことが出来てきました。友情を深める上での親睦会の交流がいかに大事であったかを再確認をしているところです。これからは通常の例会が行うこととなることを願っております。

最後に、1年間、幹事、役員、会員の皆様に支えて頂き、また協力頂いたことを感謝いたします。



志摩ロータリークラブ 会長
塩本 智幸

コロナ禍にある中、幹事や理事役員と会員の皆様の厚い友情のお陰を持ちまして、例会や多くの活動を行うことが出来ました。心より感謝申し上げます。

また、今年度スローガン「ロータリーの原点を見つめ直そう、必要とされるクラブとなるために」のもと、随所でロータリーについてのお話をさせて頂き、国際理解を推進するためのオンライン交流会、海辺での命を守るマリンセーフティ体験会、オープン例会、青少年の音楽コンサート、市民参加の文化交流際など、会員の皆様には慌ただしい年度に感じられたかと思えます。

活動に参加して頂くことで「ロータリーをより身近に感じて頂きたい」と、そんな思いでした。1年間、皆様ありがとうございました。



伊勢中央ロータリークラブ 会長
佐久間 幹郎

本年度は、withコロナではなく、afterコロナであってほしいと言う願いを込め、スローガンを「繋がり大切に」～新たな未来に向けて～とさせて頂きました。

上半期は感染防止策を施し、落ち着きを見せ始めた下半期は、活動を通常へと戻しながら、会員と会員、クラブと地域、クラブと他クラブとの交流を、徐々に深めさせて頂きました。

また、一度も休会することなく、例会を開催できましたのも、理事・役員の皆様をはじめ、委員長、会員の皆様のご支援と、ご協力があったることと、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で、ここ数年、思い通りの活動ができず、その年度の会長の苦渋の決断と言うものを目の当たりにしてきましたので、次年度は、コロナ禍に悩まされることなく、更なる躍進の年度となりますようご祈念申し上げ、お礼の挨拶とさせて頂きます。



伊勢度会ロータリークラブ 会長
西本 郁男

今年度、我が伊勢度会ロータリークラブはガバナー補佐を輩出し、I・Mの開催と言う大きな役割の中、クラブ員が全力で諸事に当たって支えていただき、無事に役目を果たすことができたことに、我がクラブの皆様、支えてくださった他クラブの皆様衷心より感謝申し上げます。また、コロナ禍の中でオープン例会は開催できませんでしたが、諸々の感染予防対策を徹底して、休むことなく他のクラブの活動・例会等が出来ました事、またポリオ募金や財団補助金事業も社会貢献・地域貢献の一つとして取り組ませていただきました。少人数のクラブの中で将来に向けての課題も残しながら、会員増強が出来なかったことに会長としての責任を重く受け止めています。今後も魅力あるクラブにならないとクラブの存続は叶いません。小粒でもビリリと辛い魅力あるクラブ創りと発展のためにこれからも微力を尽くしていきたいと思えます。



岐阜県



岐阜ロータリークラブ 会長
操 厚

2年8ヶ月に及び猛威を振るっていたコロナ禍ではありませんでしたが、その勢いがやや陰を潜めていた2022年10月22日、23日の両日に3年振りとなる対面での地区大会を1613名のご登録のもと盛大に開催できました。高橋伸治ガバナーの「ロータリーの心と原点」をテーマに、安間みち子会長代理からはRIの方針（ビジョン声明、4つの行動計画）を、基調講演は鈴木一作元RI研修リーダーより「What is Rotary?」と題して「ロータリーの本質」、「ロータリアンのあるべき姿」についてお話を頂き大変有意義な大会となりました。

ご参加いただきました会員の皆様はじめ第2630地区全ての会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。



岐阜西ロータリークラブ 会長
山田 佳孝

63期の会長として1年を振り返ると2年間コロナで停滞していた活動の活性化を一番に掲げ会長方針を「親睦と増強と人づくり」とし特に親睦には力を入れ7回の特別例会を実施し会員相互の親睦に努めました。

増強につきましては時代背景ロータリーの役割等時代と共に環境も変わり新会員入会は極めて困難な状態にあります。クラブフォーラム等の意見は他クラブとの合併に力を注ぐ事が必要だとの意見が多数を占めました。

この一年反省する事が多く沢山の課題を残す事になりましたが会員の皆様のお陰で無事に終わろうとしておりますありがとうございます。



岐阜長良川ロータリークラブ 会長
嶋崎 藤茂

“何かロータリーっていんだよな〜”と感じるその訳を会員の皆さんと確かめあって整理が出来る一年間でありたいと思ひ会長を引き受けました。

一年間の事業目標は様々ありましたが、私が最も力を入れたのは例会時の印象に残る会長挨拶であります。年間40回に及ぶ会長挨拶には、ロータリーの魅力に繋がる話題を提供できるよう努力をしたものの、自分自身がロータリーを学習することになりました。その結果、ロータリークラブに在籍していなければ経験出来なかった事や、ロータリーによって育てられていることに気づかされます。世界的な奉仕プログラムに参画できていること、国際的な青少年交流活動に携わったこと等を再確認し、更にこの一年ロータリーで自分自身成長することが出来たことに感謝したいと思います。



岐阜北ロータリークラブ 会長
川崎 賢二

今期はコロナ禍以前の通常のプログラム通りに、無我夢中で岐阜北RCの運営をして参りました。会員の皆様のご協力もあり、滞りなくほぼ全てのプログラムを終えることができました。振り返ってみますと、とても楽しくかつ充実した1年間の会長職でありました。毎週のように会長挨拶の原稿を例会前日に夜な夜な執筆していたことが、一番の思い出です。自分なりに頑張りましたので、悔いはありません。一年間ありがとうございました。



岐阜中ロータリークラブ 会長
田邊 雅範

岐阜中RCは少人数の会員で構成しているため、お互いの気心がわかり、とても運営しやすいクラブです。その反面「ゆるい」クラブであることは否めません。例会に出席する会員数は毎回20名以下で、100%出席を目標に掲げていますが、達成は難しいのが現状です。このような現状を変えたいと思ひ、次年度会長を座長、ベテラン会員1名を相談役とし、若手会員5名で構成する特命委員会を立ち上げ、改革の方策を探っていただきました。中間報告ではクラブの運営に対して様々な意見が出されましたが、意見集約には至らなかったようです。その委員会で検討された意見を基にして、次年度の事業計画が策定されました。クラブに残っている古株会員としての反省点は、入会年度の新しい会員に対して、もう少しロータリーそのものを教えるべきだったかもしれない、という思ひです。

クラブ会長挨拶 一年を振り返って



岐阜南口ロータリークラブ 会長
岸 泰孝

今期のクラブターゲットは「ロータリーで友情を」としました。コロナ禍に於いて前期までは例会の開催も制限され、今期は幸いにも規制も弱まり通常例会や夜間例会も開催できるようになったことは喜ばしいことでした。クラブターゲットはもう一度「会員同士が信頼できる仲間と一緒に奉仕活動を行う」という目的で決めさせて頂きました。地区補助金事業として「インターアクトクラブと共催による青少年育成と美術教科支援」また、ローターアクトクラブを交えて「ポリオプラス運動の促進」を会員参加で行い成功したことを嬉しく思います。会長職の始動は1年半前から始まり、先輩からは会長挨拶はロータリーの事を話さなさいと言われ必死にロータリーの勉強をしたことを思い出します。今、この原稿を書いていてあと2ヶ月で終わるのだと思うと、会長としてどれだけの事が出来たのか自問自答している昨今です。まだまだ勉強不足ではございますが、会長という役職を経験させて頂いたことに感謝いたします。



岐阜東口ロータリークラブ 会長
杉山 敏樹

今年度こそは、このコロナの影響なくクラブ活動をしたという思いから、今年度のクラブテーマを「絆をつなごう」とさせて頂き、昨今のコロナ禍でクラブの活動や行動が制限された中、いかにして人・地域・クラブ内の絆を深めていけるかに重点を置いた1年になりました。地域との絆を深めるために、ぎふメディア・コスモスや岐阜市役所での例会開催・川原町散策、クラブ内の絆を深めるために通常例会の夜間開催・早朝例会を増やし、2年延期された京都日帰り旅行（夫人同伴）などを実施しました。唯一の心残りは、一昨年「岐阜水琴亭」へ寄贈した組み立て式舞台の活用ができなかったことです。これは、今後考えていかなければいけない重要なテーマとして次年度に申し送りしたいと思います。最後に、会長就任前から今日まで、温かい激励の言葉・ご協力に支えられ1年を終えることができました。未熟な私を支えていただき本当にありがとうございました。



岐阜東南口ロータリークラブ 会長
村上 成樹

今年度はコロナ禍の影響もだいぶ落ち着きまして、例会は休会もなくほぼプログラム通りおこなうことができました。しかし、対外活動に関してはまだ全てを今まで通りおこなうことはできませんでした。年初に私は親睦と奉仕がロータリーの根幹でそこに力を注ぎたいと思っていました。この数年は感染症の影響でなかなか大勢で集まることもできず親睦を深めようと思ってもなかなか難しいところがありましたが、今年は当クラブの秋、冬、春にある三大家族例会も新しい試みを取り入れたりし、楽しんでおこなえたのではないかと思います。残念ながら会員増強に関しては増員とはなりませんでしたが、来期に向けて種を蒔いた一年ではなかったかな、と思います。



岐阜加納ロータリークラブ 会長
熊田 浩

私が加納ロータリークラブ会長に就任した今期は、IMの開催、クラブの45周年記念式典の開催という大きな行事が行われる節目の一年でありました。コロナはまだ取まらない時期でありましたので、少しでも会員たちがロータリアンとしての自覚をもってクラブ活動に励むことが出来る様にと、心を配ってきたつもりであります。「初心に帰って前を向こう！自然体で」というテーマで取り組んでまいりましたが、私自身は、ロータリアンであることの意味を自問自答し、新入会員たちには、ロータリー会員であることの魅力を感じてもらえる様にと努力してまいりました。結果、クラブ全体が一体感をもって活動できたことが、私にとっての大きな収穫となりました。クラブ会員の協力によって、無事に会長の任期を終えることが出来ますことに、心から感謝して私の報告とさせて頂きます。



岐阜エトスロータリークラブ 会長
山田 直実

この1年は激動の1年でした。7月早々にクラブの存続が危ぶまれる事態が発生し、どうなることかと思われました。しかし、この件でメンバー間の結束が強まり、フェロウシップが生まれたと思っています。また、高橋ガバナーには、地区の行事の際の託児を実現していただき、感謝でいっぱいです。子育てしながらロータリー活動をしていく上で、本当の障壁は、子どもと向き合う時間を犠牲にしているのではないかと自分自身の罪悪感だったと思います。しかし、託児でお世話になった保育士さんのおかげで、子ども達が、次はいつ遊んでもらえるのかと楽しみにするようになり、罪悪感がなくなりました。そして、子育てしながらのロータリー活動を可能にするカギは、やはり職業奉仕であるという考えに至りました。



岐阜城口ロータリークラブ 会長
加藤 丈博

今期始まったばかりのころは、まだコロナの影響もあり中止となった行事もございました。しかしながら、8月を過ぎたころからはコロナに気を使いながらも開催できるようになっていきました。今年に入ってから、東クラブ様との合同例会、4月には第4回稚鮎の放流事業も開催出来、150名近くの方々にご参加いただきました。5月には岡山で、友好クラブの岡山城RC様と松本城RC様との交流会も控えています。会員の皆様に助けられた一年でしたが、一つ心残りは、コロナ以降なかなか参加していただけない会員の方を巻き込むことが出来なかったことです。このことは来期の会長に託したいと思います。



大垣ロータリークラブ 会長
朝比奈 鋭一

私が会長に就任する直前の2022年6月頃には、新型コロナウイルス感染症もワクチンの効果から感染者の数も減り、そろそろ“巣ごもり生活”も終わることができると思っていました。それが、就任した7月には「オミクロン株(BA.5)」による感染者が急増して第7波に突入、冬には第8波も発生しました。この一年間、新型コロナの不安を抱きながら、“例会時での会員間感染は絶対出さない”という思いで、私を含め理事役員一同、取り組んできました。幸いにも3月頃以降には大規模感染は発生せず、例会場でのコロナ対策も徐々に緩和でき、現在ではほぼ新型コロナ前に近い形での例会運営が可能になりました。感染対策にご理解、ご協力していただいた会員の皆様に感謝します。



大垣西ロータリークラブ 会長
野村 正壽

コロナウイルスという未知の敵は、DX化による新しい生活様式、社交距離を保つ必要性、友人や家族との接触制限、ロータリー活動にも様々な影響をもたらしました。連日感染者が報告される中、7月に開催されたインターアクト年次大会では、山田実行委員長のもと学校関係者、RC関係者のご協力のおかげで、28校の高校生がリアルで参加し、地域伝統文化を生かした7分科会に分かれての体験学習をしました。他校との交流で、対面での空気感を味わえる場を提供する大切さ、ロータリークラブの責任の重さを痛感しました。一年を通して献身的に奉仕活動されたロータリー会員、関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。



本巣ロータリークラブ 会長
青山 正生

早いもので1年が経ち今期を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響もなく順調に行事等を進めることが出来ました。3年間のブランクは大きかったと感じております。

ジェニファー・ジョーンズRI会長テーマ、高橋伸治ガバナーの地区方針からクラブ会長テーマを『想像しようクラブの未来を！』とさせていただきます、クラブの改革に取り組んでまいりました。しかし、色々な壁にぶつかり思うように出来なかったのが正直なところで御座います。次期会長にも引き続きクラブの将来のために見直しを行っていただければと思うところであります。

最後に、ガバナー高橋伸治様をはじめ第2630地区の各クラブ関係者の皆様大変お世話になりましたことに御礼申し上げます。有難う御座いました。



羽島ロータリークラブ 会長
岩田 勝美

12年振り二回目の会長を、幹事にはやはり12年前同様、林秀樹さんをお願いしての一年でした。

先期、堀雅利会長年度から、YouTubeを使ったオンライン例会の為に、今期からIT委員会を作り、毎例会を視聴できるようにしました。ジェトロ岐阜所長の時の例会は、ロサンゼルス事務所長に視聴してもらいました。欠席者が視聴しても出席扱いにはなりません、例会が如何に行われているか知ることが出来、今後も続けたいと思います。

オハイオ州から受け入れた交換留学生は、日本に馴染めず早期帰国をしましたが、ホストファミリーには多大なご迷惑を掛ける結果になりました。これ以上振り返るとエクソシストの女の子みたいに首がグルグル回ってしまうので、これ位で終わります。



不破ロータリークラブ 会長
福田 一弘

幹事・副会長をはじめ理事役員の皆様、メンバー、事務局の皆様の友情に支えられ、この一年を務めさせて頂くことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。本年度は、岩田アシスタントガバナーをわがクラブから輩出し、9RCのホストを仰せつかりました。PETSに始まり、会長幹事会、またIMにおいては各クラブのメンバーの方のご協力のおかげで四つのテストの意味、活用方法など大変深い学びができました事に大変感謝致します。クラブ会長でも力不足だと感じていたのに、9RCのホスト会長を無事に終えることが出来たことについても岐阜・西濃グループの皆様のご支援を頂いて頂いた事に感謝致します。来期、更なる躍進の年度となるようご祈念し、お礼の挨拶とさせていただきます。



大垣中ロータリークラブ 会長
間瀬 隆弘

当クラブは今年度、伝統と発展、持続可能な事業の足掛かりを創造する、40周年を迎えクラブとしての成熟を図る、を重点目標に掲げて活動してきました。あっという間の1年でしたが、COVID-19による規制も徐々に緩和され、予定された行事は、ほぼ行うことが出来ました。ひとえにクラブの皆様のお力添えのおかげと感謝しております。目標には全く届きませんでした、その第一歩は踏み出せたのではないかと感じております。会長を経験させていただき、多くのことを学ぶことが出来ました。やっとロータリアンとしてのスタート地点に立てたのだと思います。今後はクラブの発展の為に一生懸命尽くして行きますので、さらなる御指導をよろしくお願い致します。

クラブ会長挨拶 一年を振り返って



大垣センチュリーロータリークラブ 会長
安田 厚士

会長の指名を頂き現在に至るまで「あ！」っという間が率直な感想です。始めは会長という役を理解せず不安になり躊躇していましたが、進み始めると幹事長との連携や理事の方たちとの組織に支えられ「何となく」でも進み始めると上手く機能し始めました。

当たり前ですが会長一人で会を運営するのではありませんので組織と共に運営すれば誰にでも会長は出来ることを、我が身をもって体験させて頂きました。「コロナ禍」は過ぎた事と判断し、すべての行事は中止又は延期しないの方針が会の運営上良かったのではなかったかと自負しております。これからのロータリー組織の一員として協力していかなばと新たな決意を感じております。



岐阜淡墨ロータリークラブ 会長
市田 和彦

今年度のテーマをRIのジュニアフェア・ジョーンズ会長にあわせ「IMAGINE USUZUMI」一今年を、10年後をーとしました。

10年後の岐阜淡墨ロータリークラブを想像した時に最高のクラブにするために今、何をすべきか考え行動しよう。そのために活動テーマを1.例会の充実2.会員増強としました。ロータリー全体でも会員数の減少、会員増強が課題に挙げられる中、我が淡墨クラブは現在17名という少人数クラブであり、且つ平均年齢が62.68歳という高齢です。10年後を想像すると最高のクラブどころか存続さえも危うい状態です。それを打破するためにはロータリー活動の根本である「例会の充実」、来たいという例会・ためになる例会・楽しい例会にしようと考えました。いくつか具体的な案をしましたが紙面の関係上省略いたします。その上で「会員増強」を図りたいと考えました。結果は1名入会、1名退会という状態です。例会の充実もいくつか実施できませんでした。

結論、1年の任期中ではできないことが多々あるということです。2年任期にするというのは無理だと思っておりますので、会長エレクトに任命された時から周到に準備して会長の1年間を過ごす必要があると痛感しました。

またの機会があるかは分かりませんが、ありましたら是非準備万端でスタートできるようにしたいです。

今後、次期以降の会長をサポートして、クラブ活動に積極的に参加し、10年後の岐阜淡墨ロータリークラブを最高のクラブにするように精進していきます。



岐阜サンリバーロータリークラブ 会長
塩津 健

今年度のクラブ目標、「将来のためにみんなで智慧を絞り会員増強を達成しよう」でスタートし何とか地区目標の女性会員純増1名の達成を実現できました。

また今年度は30周年にあたり11月の30周年記念式典には高橋ガバナーをはじめ、岐阜西濃グループ、姉妹クラブの鹿児島東RC、台北城中RCから多数のロータリアンの皆様にご出席賜り、コロナ禍ではごさいましたが盛大に開催できましたことを心より感謝申し上げます。具体的方針の米山記念奨学事業へ参加は、世話クラブとして全員で奨学生を支援できたこと、ロータリー財団への推進では、ポリオ根絶の街頭募金活動を実施できすべての活動が達成できました。これはひとえに岡田幹事の支えと会員各位の皆様のおかげと大変感謝いたしております。入会8年目の私にとってこの1年間はとても有意義で勉強になりました。これからも超私の奉仕を實踐し、自己研鑽し高い倫理基準、道徳心をもったロータリアンを目指します。



多治見ロータリークラブ 会長
村手 洋之

100年ぶりに世界が対峙することとなった驚異的な感染症「コロナ」。収束こそしてはいないものの、多くの制限が徐々に緩くなり、人々の対応も幾分慣れてきた7月のスタート。様子を見ながらと言いつつ、すべての事業・行事がコロナに邪魔されることなく積極的に行えたことはとてもありがたいことでありました。クラブテーマを「Back to Basics」に定め、コロナ禍においてやや見失いがちとなった活動の基礎をしっかりと再確認できるように進めてきましたが、その大きな二本柱の「奉仕と親睦」に関しては伝統の中に新しい気づきなども生まれ、67年目の1年を皆様のおかげをもちまして無事に終えられそうであります。本当にありがとうございました。



中津川ロータリークラブ 会長
酒井 康孝

クラブメンバーのPowerに感謝する1年でした。今年度は、コロナ禍で停滞していたクラブ活動を再開しよう、街中の賑わいをつくろうと「例会に出よう まちに出よう Power to the People」とスタートしましたが、第7波に襲われました。すぐさまオンラインで例会できる環境を作り、通常例会は一度も欠かすことなく実施しました。8月には補助金事業「家族で行こう!!! 発見! 中津川わくわく博物館」を開催し、市内外から1万人を超える入場者があり、家族の語らいの場をつくりました。台湾／三重扶輪社との国際姉妹クラブ更新年でもあり、更新記念事業「台湾フードフェスティバル」を11月開催し、7000人を超える人に楽しんでもらえました。4月の65周年式典には126人もの出席をいただき、お祝いすることが出来ました。



瑞浪ロータリークラブ 会長
景山 助夫

今年度は令和4年7月1日～令和4年9月30日までのコロナ第7波の真っ只中をスタートすることになり、果たして正常なクラブ運営が出来るのか疑心暗鬼でした。

しかし過去3年の会長も大変苦労されながらのクラブ運営をされており、何とか繋いで行かなくてはならないとの思いで、今年度は例会及び行事の100パーセントリアル開催を目指して行く決心をした事を昨日のように思い出しております。

執行部や各委員会及び会員のご協力のもと地区補助金事業、地域4クラブ合同例会、3年ぶりに開催した花見例会、モーニング例会、そして家族例会の開催は会員のご家族との久しぶりの懇親ができた大変充実した時間でありました。またIDMも二回開催し会員が将来の瑞浪ロータリーのあり方について議論する事が、有意義な活動でありました。

無事一年間100パーセント活動が出来ました事、そして次年度に繋げる事が出来た事を感謝申し上げて一年の振り返りのご挨拶とさせていただきます。



■ 恵那ロータリークラブ 会長
古山 紀昭

令和3年12月の臨時総会にて次年度役員・理事を発表し、次年度理事会を何度か開催しますが、開催することができませんでした。

4月になり、不安いっぱいの中で会長方針を発表し、クラブ内の委員会等を開催し、何とか7月に間に合わせました。

7、8月は、通常例会はコロナ対策をした上で開催出来ましたが、夜間例会は開催できませんでした。9月になり家族例会を鮎のヤナで開催しましたが、参加者が少人数でした。10、11月は予定通り行いましたが、忘年例会、新年会を他クラブが中止、延期は決定される中、恵那クラブは強硬開催しました。以降は、通常通り開催出来ました。

コロナに振り回されながらも、昨年度、一昨年度に比べれば、充分活動ができたと思います。

これも、各委員長さん方を中心に、計画、実施を担当して頂きました恵那クラブの皆様方の伝統と団結の賜だと感謝致します。



■ 土岐ロータリークラブ 会長
村田 一哉

新型コロナウイルス第7波と共にスタートした022・2023年度、例会や行事を行うか否か難しい選択を迫られた一年間でした。

一部の奉仕活動は中止となりましたが、例会は全て執り行う事ができました。

理事や委員長をはじめ会員の皆様方には一年間ご協力いただきまして感謝いたします。

会員増強においては3名の新会員を迎えることができ大変うれしく思います。

新型コロナウイルスが5月に感染症第5類に引き下げられた事もありクラブ内では新しい事業を行おうと企画が始まり活気が出てきています。

次年度からは以前のような魅力あるロータリー活動ができる事そして世界の平和を祈念する共に一年間沢山の方にお世話になりありがとうございました。



■ 多治見西ロータリークラブ 会長
中島 竹壽

コロナ禍当初はロータリー活動も制限される部分がありましたが、中盤になってコロナの影響もなくなりロータリー活動が出来るようになりました。今年は、「仲間と楽しいロータリーを」

をテーマにまずは会員仲間を増やす活動を行い、今年度は6名の新入会員を迎え入れることが出来ました。今年度の主な活動としては、姉妹提携をしている台湾苗栗ロータリークラブに訪問をし、コロナ禍で延期になっていた継続提携を4年ぶりに現地を訪問して来ました。また、国際交流の一環として双方の児童・生徒の書画をお互いの市で展示・表彰を計49回行っており、表彰状も約10,000枚になろうとしております。その他の活動としては、企業訪問例会・通常例会の時間を夜間に変更をした例会などのロータリー活動をしてきました。今後も今回の経験を活かしより良いロータリー活動を続けていきたいと思っております。

まずはこの1年間会員の皆様方と共に、無事ロータリー活動ができたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。



■ 中津川センターロータリークラブ 会長
堀 正勝

まずはこの1年間会員の皆様方と共に、無事ロータリー活動ができたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。

本年度、当クラブは「温故知新」～継続は力なり～をスローガンに活動してきました。来る50周年の節目の年に向けて、「変えてはいけないもの」「変えても良いもの」「変えなければならぬもの」を考え、この一年間活動を推し進めてきました。

当初より9名の新会員を迎えてスタートできたこと、中津川郷土かるたへの支援をし、かるた大会が盛大に開催されたことなど。本年度の事業や例会などに関わっていただいたすべての方々に「感謝」を申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



■ 多治見リバーサイドロータリークラブ 会長
水野 観伺

幹事、副会長をはじめ理事役員の皆様、メンバーの皆様の献身的な協力に支えられ、この一年を務めさせて頂くことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

本年度は「進化・向上するロータリーを目指して」をスローガンに、メンバーの皆様がロータリー活動に積極的に参加して頂き、ロータリーの輪をより広げることで多くの新しいメンバーが入会していただきました。これも偏に、前期の30周年記念式典・祝賀会や今期の地区研修・協議会などの大きな行事をクラブのメンバー一人一人が積極的に参加し、成功させたことでクラブとの一体感や自信が醸成できたからだと思います。

次年度、箕浦会長の下、更なる躍進の年度となりますようご祈念し、お礼の挨拶とさせていただきます。



■ 美濃ロータリークラブ 会長
河合 有二

今回二度目の会長職です。前回に比べ研修セミナーが多く感じられました。

県下でも古参で伝統あるクラブとして、なにをすればよいかと今年度会長方針にも記しました。特に目立ったことは出来ないのであれば、RIまたは地区の方針に沿った事業を実施し、寄付なども従来通り決められたように協力する。その中に「おもいやり」の心を大切に育ててきました。

開催時期は地区と異なりますが、毎年12月IAクラブがミニ門松を製造販売するのでコラボしてポリオ根絶募金活動を続けています。

コロナ禍で、親睦懇親会が開催できてなかったのですが、夏の浴衣例会、冬の無事越年クリスマス例会、明けて新年互例会とクラブ内の親睦と、秋には子孫クラブとの3クラブ合同親睦例会、春には近隣クラブとの花見例会と開催でき、好評を得ました。

私個人の話になりますが、この年になると時の過ぎる早さを感じていたのですが、この一年長く感じております、充実した時間を過ごせた結果でしょうか。

クラブ会長挨拶 一年を振り返って



各務原ロータリークラブ 会長
左高 洋

一年を振り返り、ロータリーの経験や知識がない自分ではありましたが、会員皆様のご協力があり一年を終える事が出来ました。そして東海北陸道グループ会長幹事会も不安の中での参加ではありましたが、亀井ガバナー補佐、各会長からも助言を頂き、お互いの街について話す事が出来、本当に楽しくロータリークラブについて勉強する事が出来ました。

入会してからはコロナの影響もありロータリーの活動は少なかったですが、今期は会長職を通じて行政、市民との繋がりを感じ一年間活動することが出来ました。

今期、各務原ロータリークラブは60周年を迎えました。各務原市内のロータリークラブの数は減少しましたが、更なる発展をするにはどうすればいいのかが考えました。RI会長テーマ「イマジンロータリー、想像」プラス会員一人一人が会の発展、会員増強について「イマジン、考える」を加えました。現在各団体、会員数が衰退していますが、会の魅了、会員個人の魅了向上、そして地区スローガン「ロータリーの心と原点」を基に挑戦していく事が大事だと思います。

これからもロータリークラブが街の発展に一翼を担えるよう、奉仕活動を続けたいと思います。一年間有難う御座いました。



関ロータリークラブ 会長
古田 貴巳

本年度、会長を務めた経験はかけがえのないものでした。当初、果たして会長を務まるのかという思いは誰にでもあると思います。しかし、「決まった以上はやるしかない！」という思いで、自分なりに精一杯努めようと心に決めました。本年度クラブテーマを「存在意義」としました。これは、ロータリークラブは単に存在しているのではなく、いかに意義ある活動を行うことが重要だという思いからつけたものです。この一年の活動は決して恥じることなく、意義あるものであったと思います。私の会長職は終わりますが、ロータリー活動はこれからも続きます。このかけがえのない経験を今後に生かしていきたいと思っています。



郡上八幡ロータリークラブ 会長
水上 成樹

昨年7月に郡上八幡ロータリークラブの会長に就任してから1年が経過としています。この一年間に様々な事がありました。就任早々に会員の田代東次郎さんがご逝去され、その3か月後に林建吉さんもお亡くなりになりました。お二人は、クラブの会長経験者で立派なロータリアンでもありました。お二人の御功績をたたえ、ご冥福をお祈りいたします。また、コロナウイルス感染症が地域でも猛威を振るい、例会も一ヶ月ほど休止することとなり、新奈ロータリークラブと伊勢崎中央ロータリークラブとの懇親会も中止になり、とても残念な期の始まりとなりました。

そのような中、11月には信田清久さんが入会され、12月の忘年会はコロナも取り、楽しく行うことができました。それからの行事は普段どおりに戻り、例会も滞りなく行うことができるようになりました。4月には待望でもありました2名の女性会員、平岩あゆみさんと中国国籍の徐紀さんに入会して頂きました。これをきっかけに、多くの女性会員、又他国籍の会員が入会して頂けるようになればと思います。

また現在の会員数は36名ですが、以前の40名まで増やしていけるように、今後も会員増強に尽力していきたいです。そして来期は渡辺剛ガバナー補佐を自クラブから輩出し、IMのホストも控えています。あと残りの時間をしっかりと次期IMの成功の為に繋げていきたいと思っています。

そして最後に、理事会、幹事、各委員の委員長をはじめ会員の皆様には、ポリオの活動、社会奉仕、青少年支援、SAA、親睦、会員増強、広報、そしてクラブ運営等にそれぞれの立場で、ご尽力されご協力頂きましたことを心から感謝いたします。

一年間本当にありがとうございました。



関中央ロータリークラブ 会長
藤村 伸隆

「一年を振り返って」とのテーマで原稿を提出するよう依頼を頂きました。

やはり会長になった昨年は、まだまだコロナ禍にあり、ウイズコロナ・アフターコロナ時代を考えたがらの活動も多く、この事業は開催するのか？開催ならコロナ対策は？といつも考えていました。幸い私達クラブの例会、事業等はだいたい予定どおりその時々の方策をとりながら開催できましたが、会員増強につながる様な活動は中々できませんでした。しかしながら「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」のテーマを思い一年間務めてきました。

新しい年度はコロナ感染症も2類から5類になり、コロナ禍以前に活動も戻り、会員増強等につながる活動も多くなると思っています。一会員として頑張って行きたいと思っています。

一年間、皆様には、お世話になりありがとうございました。



郡上長良川ロータリークラブ 会長
小島 正則

今期はクラブテーマを、楽しい事にも楽しい場所にも人は集まるという気持ちで「楽」としました。コロナウイルスもだんだん収まり、会員同士でも食事をとることが出来、以前の例会に戻りつつあり、充実した例会ができるようになりました。

また地区補助金事業では高校生を対象とした講演会を開催することが出来、大きな活動が出来る自信となりました。

各委員会活動も以前のように少しずつではありますが、出来るようになったことは大変な進歩だと思います。

会員増強におきましても会員数が増えてきており、とても嬉しい限りでした。

2回目という事もあり、少しは余裕を持って会長職を全うできたと思っています。



高山ロータリークラブ 会長
養谷 雅彦

振り返ってみれば、あっという間の一年間でした。コロナも少し落ち着きはじめ、例会もほぼ通常に戻すことが出来ました。そして、長年勤めていただいた事務局員も代わり、「高山クラブ」として新たなスタートとなる2023年となりました。

やはりリアルに開催されるということは素晴らしいことです。ガバナー公式訪問も通常通り開催され、何よりも10月に開催された「濃飛グループIM」では、久しぶりに大変楽しい大懇親会が出来、たくさんのロータリアンと交流を持つことが出来ました。楽しかったです。

そして、何よりもクラブの皆さんに支えられ一年間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。リアル開催が出来るようになったいま、会員拡大に力を入れ、たくさんの仲間を増やしていきたいと思っています。

感謝！！



下呂ロータリークラブ 会長
成瀬 巧

新型コロナウイルスの影響により例会中止を余儀なくされる時期もありましたが、それ以外は各事業も会員の皆様のお力添えにより滞りなく行うことが出来ました。

青少年交換事業ではスウェーデンからの留学生受入に際し、益田清風高校並びにホストファミリーの皆様の多大なるご協力により今回の事業も無事遂行することが出来ました。

又今年度は会員増強を目的にロータリー活動を広く会員以外の地域の皆様にご理解頂く場的手段としてオープン例会を開催しました。結果として23名の方に参加して頂くことが出来、地域に向けたロータリー活動のアピールにもなったと思いますし、何より新たに女性会員が入会されたこと、大変うれしく思っています。

話下手で頼りない会長ではありましたが皆様に支えられ公私ともに充実した1年でした。全ての事業が遂行できたこと、会員の皆様に心より感謝致します。ありがとうございました。



高山西ロータリークラブ 会長
垣内 秀文

コロナ禍であっても「新たな日常」という過渡期でもあり、期初の予定通り例会を開催できたことが、クラブにとっては大きな収穫であったと思います。

「未来を見据え、更に親睦を深め、皆でクラブを再活性化しよう」をスローガンとして掲げ、クラブ運営をして参りました。例会が継続して開催されること喜びであり、希薄であった交流が活発となり、オンライン出席を認めることで、物理的に無理な場合でも出席を可能としました。新しい出席の在り方として徐々に定着しており、今後100%出席が常年实现できることを期待します。

今年度も中学生対象の「出前講座」の他、義務教育九ヵ年皆出席表彰と継続事業を実施しました。しかし残念ながら36年間継続して参りましたミニソフトパレーRC杯は人口減少・趣味の多様化等の要因もあり、今大会で冠をはずさせていただく事となりました。次年度に向け新たな支援を模索していきます。

ロータリーの魅力は、地区研修協議会・IM・地区大会等が当たり前に開催され、其れに参加することにより見識がひろがり、人生の諸先輩をはじめ多くの方との親睦が図られ、自らの成長を実感できることです。今年度、様々な行事が以前のように開催されたことが私にとって大きな収穫でした。



美濃加茂ロータリークラブ 会長
大野 博文

今期RI会長テーマであるイマジンロータリーと地区スローガン『ロータリーの心と原点を大切に描こう明るい未来を』原点とは人づくり真のロータリアンを育てる事、いつも一緒に笑い夢を描き希望を抱きそして成長しましょうを目標とし、美濃加茂クラブでは年間計画で月一のオープン例会を実践しより多くの方にロータリークラブを知って頂きインクルーシブ感を感じ取って貰える様にしました。そして会員増強は委員長や委員の仕事だからと無責任にせずクラブ全体で支え合い8名の増強となり一段とクラブの若返りが出来ました。またこの2年間はコロナ禍で思う様な活動が出来ず心配しましたが今期美濃加茂ロータリークラブ55周年記念式典、行事も開催出来協力頂いた皆様に感謝の一年になりました。



可児ロータリークラブ 会長
可児 幹祥

早いものでもう1年となりました。拝命されてから期待と不安の連続ではありましたが、実に充実した有意義なクラブ活動が出来たと感じています。

今期は『親睦』と『出席』をテーマにスタートをしました。中でも特にホストクラブとしてのIM開催、地域学校への教育的支援、地域の諸行事への参加、協賛によるクラブイメージ発信、ゴルフコンペ開催、多数の外部卓話者を招いての例会、オープン例会の実施、事業所見学例会、2回の家族例会開催、親睦旅行など各委員会が多岐に渡り活動出来た1年でありました。

加えて会員増強も順調に進捗し、おかげさまで今期は5名の増員となり若いメンバーが増えました。退会者も無く、現在は活気溢れるクラブになっています。

前期まではコロナの影響により活動の制限を余儀なくされた背景もありましたが、今期に於いてはテーマ通り出席率も向上し、全てのクラブ活動が充分に出来た1年であったと思います。また私自身も充実した1年間でありましたし、幹事共々『超我の奉仕』精神を改めて研鑽出来た良い機会となりました。

これらが遂行出来たのも、ひとえに理事役員を初めとするメンバー全員のご理解ご協力があって成せた事でありました。会員の皆様に心より深く感謝申し上げます。



高山中央ロータリークラブ 会長
中田 学

「イマジン⇒アクション～止まった時間を動かそう！～」。新型コロナのせいで、この2年、たくさんのロータリー活動がストップさせられました。コロナ禍前に戻りたい、いや戻りたい。そんな想いでテーマを掲げて年度をスタートしました。

しかしながら、やはり全てはコロナ次第、日々変わる状況に一喜一憂しながらも、ようやく社会が落ち着きを見せ、8月「高山市図書館での子供たちが翻訳作業をした絵本を海外に送る事業（地区補助金事業）」、10月「東山中学校での出前講座」、12月「忘年会例会」、1月「新年家族懇親会例会」、3月「宇宮祭（高山陣屋前会場）での3クラブ合同ポリオ募金活動」等々、全ての事業をほぼ当初の予定通り実施することができました。

運に助けられ、何よりロータリーの仲間へ助けられ、つながりに生かされていることを実感する感謝の一年になりました。ありがとうございました。

韓国第3600地区・地区大会に参加

ガバナー 高橋 伸治

4月25日～26日に開催されましたRI3600地区の地区大会に2泊3日で参加してきました。

開催場所は、仁川国際空港から約150キロ離れた地方都市で、高速道路を走って約2時間。新型コロナ感染の為、日本からは4年ぶりの訪問となりました。当地区からは、私のほかに剣田PDG、篠原DGE、山岡地区代表幹事4名で参加しました。

第一日目は、RI会長代理歓迎晩餐会が盛大に行われました。二日目の本会議は、午前中はRI会長

代理挨拶、ガバナー挨拶、クラブ表彰などが行われ、午後からは、まったく雰囲気を変えお笑いタレントが司会をして、プロの歌手が次々と出演する歌謡ショーとなりました。朝の9時から始まって終了が夜の6時までと大変長い大会でありましたが、日本とは全く違う地区大会に驚きと同時に素晴らしい設営に感動しました。おもてなしも徹底されており韓国ロータリアンの友情に感謝です。また、予定通り姉妹提携調印式も無事に執り行う事が出来ました。



中津川RC創立65周年

中津川ロータリークラブ 会長 酒井 康孝

4月13日、心配された黄砂もそれほどでもなく晴天に恵まれ、夕刻パルティールにて65周年記念式典・記念祝賀会が開催されました。これまでクラブの活動に協力くださった方々、ご家族とお祝いしようと来賓は市内の方に限り、また台湾／三重扶輪社との国際姉妹クラブ契約更新調印式もあり、三重扶輪社から29名の参加をいただき、総勢126名の参加がありました。

記念式典では、可児実行委員長から過去5年間の活動報告が行われました。いずれも中津川市をはじめ中津川市内各団体と協力し実行実現したもので、

中津川ロータリークラブの創立以来の伝統を継承し、地域に根差し、奉仕活動を続けていると感じるものでした。

祝賀会は、クラブと皆さんの友好が永遠に続くことを祈るミュージカル「アイダ」のアトラクションに始まり、食事と懇談の跡、鈴木パスト会長、三重扶輪社・張信パスト会長の音頭のもと「花は咲く」の大合唱で中締め、場所を変えて二次会はカラオケ大会と大いに盛り上がり、翌日には三重扶輪社とのゴルフコンペが開催され親睦を深めることが出来ました。

鈴鹿シティRC創立25周年記念式典

鈴鹿シティロータリークラブ 会長 廣田 隆

開催場所 コンフェット鈴鹿平安閣
式典 3Fクリスタル
講演会 4Fルミエール
懇親会 3Fクリスタル

参加人数 100名

内 容

式典
25周年事業の発表 ①ベトナム奨学金事業
②チャリティゴルフコンパ
事業
③衛星クラブ事業

認証伝達式・歴代会長紹介

記念講演会
講 師 飯島 千泰 (いじま ちひろ)
内 容 テーマ【薬剤師からママさんパイロ
ットへ】

懇親会
アトラクション C;o nライブステージ

今回の25周年創立記念式典は鈴鹿シティRCらしさを出す式典にしているというコンセプトで企画をさせていただきました。

参加して頂いた全ての会員また来賓に楽しんでいただけた式典また懇親会になりました。

また継続事業の奨学金で大変お世話になっているベトナムのギエム・ブー・カイ先生もご出席頂き、鈴鹿シティRC25周年の集大成を発表できた式典・懇親会を行う事ができました。

今後30周年に向けての活動に弾みがつき、私共が進む道しるべになるような活動を繰り広げていきたいと考えております。



地区代表幹事挨拶

地区代表幹事 山岡 利安

地区では青少年交換委員しか経験をしてない私が地区代表幹事を拝命し、戸惑いの中で準備が始まりました。最初は第2630地区のガバナー体制がどのように組織され、研修を経て行事が行われていくのかもわからず、また新型コロナウイルスの影響で3年間あらゆる行事が中止またはリモートになるなど、全く手探りの状態でしたので、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。高橋エレクト年度は新型コロナウイルスの波に翻弄されながらも、10人の地区幹事がそれぞれを分担し、次期AGCCセミナー、地区チーム研修セミナー（リモート）、PETS、地区協議会を開催する事ができ、高橋エレクトの強運を示すことができました。本年度に入っても新型コロナの波の中、一部延期、中止はありましたが、殆どのガバナー公式訪問・IMに参加することができました。また岡本実行委員長の下、岐阜RCの実行委員会メンバーと会員が一丸となって3年ぶりの地区大会が開催できたのも、参加いただいた各クラブの皆様のお陰です。本当に有難うございました。本年度もあと少しとなりましたが、月信も最終回となり、何とか高橋ガバナー年度を終えることが出来そうです。今までご指導をいただきましたパストガバナーの皆様を始め、地区役員、各クラブの会長・幹事・会員の皆様に心から御礼申し上げます。

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2023年4月分

グループ	ク ラ ブ	例会数	会員数					
			前期末	うち女性	月 末	うち女性	増	減
桑 員	桑 名	4	36	0	35	0	1	2
	桑 名 西	4	24	0	28	1	4	0
	桑 名 中央	4	25	1	29	3	4	0
	桑 名 北	3	27	6	31	6	6	2
	グループ計(4)		112	7	123	10	15	4
四 日 市	四 日 市	4	86	2	91	2	12	7
	四 日 市 北	3	18	4	22	5	4	0
	四 日 市 西	4	72	4	74	4	2	0
	四 日 市 南	3	31	4	31	4	1	1
	四 日 市 東	4	33	0	32	0	0	1
	グループ計(5)		240	14	250	15	19	9
鈴 鹿 ・ 亀 山	鈴 鹿	4	72	10	68	10	1	5
	鈴 鹿 西	3	29	7	28	7	1	2
	鈴 鹿 ベイ	3	12	0	12	0	1	1
	亀 山	4	14	0	13	0	0	1
	鈴 鹿 シティ	4	60	2	59	2	2	3
	グループ計(5)		187	19	180	19	5	12
中 勢 ・ 伊 賀	津	4	59	0	62	1	8	5
	上 野	4	34	2	35	2	1	0
	名 張	3	36	1	38	1	3	1
	津 南	3	42	2	44	2	2	0
	津 北	4	51	4	54	4	5	2
	上 野 東	4	33	2	37	2	4	0
	久 居	4	25	1	29	3	4	0
	名 張 中央	4	17	2	20	2	3	0
	グループ計(8)		297	14	319	17	30	8
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	4	76	0	78	0	2	0
	松 阪 東	4	66	12	71	13	6	1
	熊 野	3	31	5	37	5	6	0
	尾 鷲	4	11	2	11	2	0	0
	松 阪 山 桜	4	38	3	39	3	2	1
	グループ計(5)		222	22	236	23	16	2
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	3	48	0	51	0	4	1
	鳥 羽	4	28	3	31	3	3	0
	伊 勢 南	4	41	4	42	5	4	3
	志 摩	4	44	14	43	12	3	4
	伊 勢 中央	4	48	0	44	0	0	4
	伊 勢 度 会	3	16	4	16	4	0	0
	グループ計(6)		225	25	227	24	14	12
三 重 県 合 計 (33)		1,283	101	1,335	108	99	47	

■2022年4月（前年度）出席報告

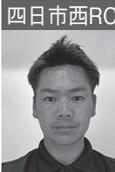
	前期末	うち女性	月 末	うち女性	増	減
岐阜県合計 (40)	1,718	72	1,741	75	72	49
三重県合計 (33)	1,313	102	1,322	101	66	57
地 区 合 計 (73)	3,031	174	3,063	176	138	106

グループ	ク ラ ブ	例会数	会員数					
			前期末	うち女性	月 末	うち女性	増	減
岐 阜 A	岐 阜	2	77	3	76	3	8	9
	岐 阜 西	3	42	0	40	0	2	4
	岐 阜 長 良 川	4	41	0	41	0	2	2
	岐 阜 北	4	39	3	38	3	2	3
	岐 阜 中	2	26	1	26	1	1	1
	グループ計(5)		225	7	221	7	15	19
岐 阜 B	岐 阜 南	3	84	9	85	9	3	2
	岐 阜 東	4	43	2	44	2	1	0
	岐 阜 東 南	4	36	0	35	0	2	3
	岐 阜 加 納	4	86	3	86	2	3	3
	岐 阜 エ ト ス	3	21	2	17	2	1	5
	岐 阜 城	3	18	0	17	0	0	1
グループ計(6)		288	16	284	15	10	14	
岐 阜 西 濃	大 垣	4	86	3	86	3	2	2
	大 垣 西	4	76	0	80	0	5	1
	本 巢	3	28	0	28	1	2	2
	羽 島	4	38	4	38	4	3	3
	不 破	3	27	0	27	0	2	2
	大 垣 中	3	65	3	61	3	1	5
	大垣センチュリー	4	54	3	51	4	1	4
	岐 阜 淡 墨	3	16	1	16	1	1	1
	岐阜サンリバー	4	18	3	18	4	1	1
	グループ計(9)		408	17	405	20	18	21
岐 阜 東 濃	多 治 見	4	52	4	54	4	6	4
	中 津 川	3	71	2	72	3	3	2
	瑞 浪	4	60	1	62	1	3	1
	恵 那	3	47	3	49	3	6	4
	土 岐	3	36	1	38	2	3	1
	多 治 見 西	3	25	3	29	3	4	0
	中津川センター	3	51	1	60	3	9	0
	多治見リバーサイド	3	41	1	50	1	9	0
グループ計(8)		383	16	414	20	43	12	
東 海 北 陸 道	美 濃	3	18	0	19	0	1	0
	各 務 原	2	29	1	29	1	1	1
	関	4	47	2	46	2	1	2
	郡 上 八 幡	3	35	0	36	2	3	2
	関 中 央	3	29	0	29	0	0	0
	郡 上 長 良 川	3	31	5	33	5	2	0
	グループ計(6)		189	8	192	10	8	5
濃 飛	高 山	3	35	0	38	0	4	1
	下 呂	3	25	0	26	1	1	0
	高 山 西	2	34	2	36	2	3	1
	美 濃 加 茂	4	36	5	40	4	7	3
	可 児	2	35	1	38	1	3	0
	高 山 中 央	3	53	3	56	3	4	1
グループ計(6)		218	11	234	11	22	6	
岐 阜 県 合 計 (40)		1,711	75	1,750	83	116	77	
地 区 合 計 (73)		2,994	176	3,085	191	215	124	

会員動静報告 (敬称略)

2023年4月分

受章 入会会員

 四日市RC 竹内 稔 旭日双光章	 桑名中央RC 水谷 隼 2023.4.14入会 土木建築	 桑名中央RC 石田大介 2023.4.14入会 防犯カメラ販売施工管理職	 四日市西RC 伊藤英信 2023.4.21入会 自動車板金塗装業	 鈴鹿シティRC 吉田公夫 2023.4.26入会 地方銀行	 津北RC 梅林久高 2023.4.6入会 私立学校	 上野東RC 平井俊文 2023.4.13入会 産業環境整備	 上野東RC 北澤 毅 2023.4.20入会 土木	 松阪東RC 早津真由子 2023.4.3入会 建築業
---	--	--	--	---	--	---	---	--

 松阪東RC 森本潤一 2023.4.3入会 木造建築工事業	 志摩RC 平田貴之 2023.4.18入会 生命保険	 岐阜RC 杉浦孝典 2023.4.7入会 旅行斡旋業	 岐阜長良川RC 橋本尚史 2023.4.1入会 測量機器販売	 岐阜中RC 箕浦郁朗 2023.4.11入会 情報処理サービス	 多治見RC 桂 隆男 2023.4.12入会 電気供給	 中津川RC 鈴木隆弘 2023.4.6入会 証券業	 恵那RC 山川晃司 2023.4.11入会 普通銀行	 多治見リバーサイドRC 北川宥智 2023.4.1入会 文筆業	 多治見リバーサイドRC 木下高成 2023.4.4入会 和食割烹
---	--	--	--	---	---	--	--	---	--

 郡上八幡RC 徐 飛 2023.4.6入会 中華料理	 郡上八幡RC 平岩あゆみ 2023.4.6入会 不動産業	 郡上長良川RC 奥村照彦 2023.4.5入会 農業生産	 高山RC 山田倫章 2023.4.6入会 電力供給	 高山西RC 大屋尚史 2023.4.21入会 保険業	 美濃加茂RC 牧田秀憲 2023.4.28入会 クリーニング職	 可児RC 長瀬浩一郎 2023.4.6入会 塗装工事業	 岐阜西RC 畑 良平 2023.4.9入会 2023.4.9逝去
--	--	--	---	--	---	--	--

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

ガバナー月信 表紙説明



ぎふ金華山ロープウェー

岐阜城のある金華山の山頂と麓にある岐阜公園とを結ぶ「ぎふ金華山ロープウェー」。標高329メートルの山頂までを約3分で駆け上がります。その間、眼下には山を覆う自然林や長良川の清流、岐阜市の街並みが広がり、標高が上がるにつれて開けた眺望を望むことができます。

金華山ロープウェー山頂駅付近には、小休憩できる売店やリスと触れ合える「ぎふ金華山リス村」、濃尾平野を眺めながら食事ができる展望レストランを併設。そこから徒歩8分の場所に、岐阜市のシンボルとして親しまれる岐阜城があり、戦国時代の浪漫あふれる展示物の数々を見学することができます。

ロープウェーは通常毎時15分おき、混雑時は毎時10分おきに運行。毎年夏季には夜間も運転され、美しい夜景を一目見ようと多くの人たちが訪れます。金華山一帯の四季折々の魅力を感じる空中散歩をぜひお楽しみください。

地区研修・協議会報告

2022-23年度 ガバナーエレクト 篠原 一行

2023年度地区研修・協議会が4月15日（土）多治見市のバロー文化ホールで開催されました。当日はあいにくの天候でしたが、特別出席者をはじめ、地区委員会の皆さん方、そして地区内73クラブの皆さん方約1000名以上の多くのロータリアンの方々にご参加いただきました。

開会セッションに続き、第1セッションでは、3年ぶりの出席となった国際協議会の帰国報告会から始まり、次期ゴードンRI会長のテーマ「世界に希望を生み出そう」のスピーチ画像、RIの戦略計画やビジョン声明、そして次期地区方針や強調事項などをお話させていただきました。同時に隣の会場で、パストガバナーをはじめ次期ガバナー補佐と地区委員長、そして会長エレクトの皆様方には、木村パストガバナーから危機管理に関するお話、そして亀井ガバナーノミニーの会員増強に対する強い思いを語っていただき、大変有意義なセッションとなりました。

休息をはさみ地区各委員会による分科会を開催しました。本年度は会場の都合により、公共イメージ委員会と会員増強委員会を、ロータリー財団部門委員会と奉仕プロジェクト部門委員会を合同分科会とさせていただきます。共にコンセプトの近い委員会ですので、多くの会員にとって幅広く理解を深めた分科会だったことと思います。

地区研修・協議会の大きな目的のひとつに、ロータリーの目的を理解し、地区内クラブが情報共有し、さらに会員同士の親睦を図ることがあると思いますが、その意味においても大変有意義なセミナーだったと思います。

ロータリーの基本は、各クラブが元気になることであり、地区は各クラブの応援団でありたいと考えています。次年度に向けて私たち第2630地区の地区運営を地区チームの皆さん方と共に精一杯務めさせていただきます。今後共ご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。



2022-2023年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail : branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務所	〒502-0817 岐阜県岐阜市長良福光2695-2 都ホテル岐阜長良川3階 TEL 058-297-2630 FAX 058-297-2631 E-mail : 2223@rid2630.org (ガバナー事務所) E-mail : 2223taikai@rid2630.org (地区大会事務所)	執務時間 10:00-17:00 (土・日・祝日 休務)